事例No.	2026
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	香川県

事例区分	DX

タグ	・消防・防災 ・EBPM ・ICT

事例種類	消防・防災

事例内容・タイトル

各種データに基づく情報を県政や住民等への意識啓発に活用

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

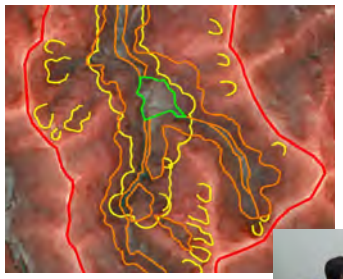
46 各種データに基づく情報を県政や住民等への意識啓発に活用【香川県】

事業の概要

○ 香川県では、近年増加する山地災害等の発生リスクを検証するため、国の航空レーザ計測データを活用して、微地形表現図の作成、解析を実施している。

○ 斜面の状況や堆積状況等を示す微地形表現図を作成することにより、山地災害危険地区における危険度(災害発生リスク)を知ることができる。デジタル技術を活用することで、多くの情報から複合的な分析をすることができ、分析に要する時間も従来より短縮される。

○ そうして得られた情報を基に、各種計画の策定や関係者等への周知を行うことにより、住民等の防災意識や地域の防災力の向上を図ることができる。





【参考情報】 人口：97.4万人
関連URL： －

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



香川県では、山地災害危険地区について、危険度の高い地区から優先的に治山施設を整備することとしていますが、本県における着手率が全国の実施率に比べて低い状況にあり、早急な対応が必要でした。

（香川県）



事業の近況を教えてください。



未着手の崩壊土砂流出危険地区のうち、離島部分及び砂防指定地が指定されている箇所を除いた、危険度ランクAの箇所を優先して順次事業を進めています。
（令和３年度20箇所、令和４年度21箇所）



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



本県としてもまだまだ動き出したばかりの事業であり、出先機関や地元市町などの関係者と情報共有しながら、各種計画の策定等に向けて検討しているところです。
これまでの手法からの転換となるため、スタート時点で課題は多いかもしれません。しかし、計画的な事業の推進のため、必要な過渡期と考え積極的に取り組んでいます。

★担当：香川県環境森林部 みどり整備課★

令和3年度事業費 6,000千円